



加に向けて、関係国との協議に入る」と宣言。でも実際に交渉に参加するにはアメリカ議会の承認などの手続きが要るので、交渉参加は早くても2012年の夏以降になるとみられているよ。

- ★TPPは足抜け不能？
- ★TPPはぼったくりバー！？

TPPの交渉は秘密裡に進められていて詳しい内容は明らかにされていない。それなのに参加するなんて、とずっと揶揄されてきたんだ。昨年末になって、

1. 交渉内容を公表しない合意がある
2. 交渉文書は協定発効後4年間は秘匿される



ということが、ニュージーランドのTPP首席交渉官マーク・シンクレア氏によって明らかになった。でも、これって、おかしくないかい？ そんなに秘密にしないちゃいけないことって、一体どんなことだろう？

よっぽどひどい内容で、公開したら参加国の国民がみんな反対するから隠している、としか思えないよね？ しかもこれって、国民は「情報を知らされる必要がある者」と認められていない、ってことだよ。国が協定を結んだら、その影響はすべての国民に及ぶのに、「おまえたちは知らなくていい」なんて、ずいぶん失礼な話じゃないか。

交渉内容はとても幅広く、24もの分野に渡っているよ。

- 1 首席交渉
- 2 市場アクセス(工業)
- 3 市場アクセス(繊維・衣料品)
- 4 市場アクセス(農業)
- 5 原産地規則
- 6 貿易円滑化
- 7 SPS(検疫、及びそれに付随する措置)
- 8 TBT(貿易上の技術的障)
- 9 貿易保護
- 10 政府調達
- 11 知的財産権
- 12 競争政策

- 第1章 TPPって何？
- 第2章 TPPで発展!の勘違い
- 第3章 TPPに入るとどうなる？
- 第4章 なぜ日本は加盟したい？
- 第5章 TPPでは幸せになれない
- 第6章 TPPと遺伝子組換え
- 第7章 経団連会長とTPPの関係
- 第8章 米韓FTAを参考にしよう
- 第9章 自由貿易について考えよう

### 第1章TPPって何？

Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement の略で、日本語では「環太平洋戦略的経済連携協定」「環太平洋パートナーシップ協定」ともいう。

参加国の間で関税(輸出入にかかる税金)を一切なくそう、関税以外でも貿易の邪魔になるあらゆる規制をなくそう、という協定だ。簡単に言えば、**経済に関しては国境の壁を取り払ってしまおう、というものだ。**

はじめはシンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4か国の間で交渉が始まった。それにベトナム、チリ、オーストラリア、ペルー、マレーシア、アメリカが加わって、現在9か国で交渉が進められている。

4、日本は2011年11月ハワイで行われたAPEC(アジア太平洋経済協力会議)で、野田首相が「交渉参

交渉文書や各国の提案、関連資料を入手できるのは、政府当局者のほかは、政府の国内協議に参加する者、文書の情報を検討する必要のある者、または情報を知らされる必要のある者に限られる



- 13 サービス(クロスボーダー)
- 14 サービス(電気通信)
- 15 サービス(一時入国)
- 16 サービス(金融)
- 17 サービス(e-commerce)
- 18 投資
- 19 環境
- 20 労働
- 21 制度的事項
- 22 紛争解決
- 23 協力
- 24 横断的事項特別部会(中小企業、競争、開発、規制関連協力)

## 7、第2章「TPPで発展！」の勘違い

### ◆1.「農業のために工業を犠牲にしているのか」のウソ

かつて前原外務大臣(当時)は、「農林水産業のGDP比はわずか1.5%。この1.5%を守るために、残りの98.5%を犠牲にしているのか」という意味の発言をした。

この発言が盛んにマスコミに取り上げられたもんだから、TPP反対＝農業を守ること←→TPP推進＝工業輸出を伸ばすこと、と勘違いしちゃってる人がすごく多い。日本はコメに高い関税をかけてる(700%以上)。TPPに入ると、関税がなくなって、外国から安いコメがたくさん入ってくるだろう。安いものに飛びつく消費者は多いから、日本のコメが売れなくなって、日本のコメ農家には大打撃だ。だから、TPPは日本の農林水産業に打撃を与える、というのは間違っていない。

でも、TPPに入らなかつたら、残りの98.5%は本当に犠牲になるのかな？

日本が輸出で稼げるものといえば、自動車、家電製品など(「耐久消費財」と呼ぶよ)

が主。では、耐久消費財の輸出額はどれだけかということ、GDP比1.652%しかない(2009年度)。

なんだ、農林水産業の1.5%とたいして変わらないじゃん！てこと

の98.5%が犠牲になるなんて、大ウソ。

8、国内でのサービス業(GDP比20.8%)や卸売・小売業(同13.1%)の方が、日本経済で大きな比重を占めている。日本は貿易で食べている国というよりも、内需(国内の需要)でもっている国なんだ。

### ◆2.「関税なくせば輸出が伸びる」のウソ

輸出入に関わる税金が「関税」。参加国の間で、これを全部無くしてしまおう、というのがTPPの基本だ。TPP推進派は、関税をなくせば、輸出先での値段が安くなり、日本の工業製品が売りやすくなる、と言っている。

でもホントにそうかな？

たとえば、アメリカが日本のテレビを輸入するとき、そこにかかる税金は0~5%、自動車の場合2.5%仮に1ドル100 円のときに日本で100 万円の自動車があるとする。

100 万円=1万ドル、関税の2.5%を足すと、1万250 ドルになる。それが関税をなくせば1 万ドル。なんだか、たいした違いじゃないような気がするね。でも少しでも安くなれば多少は売りやすくなるかな。

でも、円高になったらどうなるだろう？

1ドル90 円になれば、100 万円=1万1111 ドル。おやおや、関税がなくなっても、円高になると、売値は高くなっちゃうぞ。

9  
つまり現代では、関税が既に結構低いので、製品の売りやすさにはあまり関係しないんだ。

それより為替、つまり円がドルや他

がわかる。輸出業全体でもGDP比は11.5%しかない。残り

の通貨と比べて、高いか安いかのほうが、ずっと大きな問題なんだよ。円高になると、どうしても輸出品は売りにくくなる。

だから、関税をなくしたからと言って、工業製品が売りやすくなる、ってというのは大きな勘違いだ。

今韓国製品の売れ行きがいいのは、韓国の通貨ウォンが下落しているから。2008 年9 月以降、ウォンが40%も下落したため、いつも4 割引セールをやっているようなものなんだ。

### ◆3.「TPPでアジアの成長を取り込む」のウソ

TPPを推進したがる人たちは、「TPPに加盟することで、日本はアジアの成長を取り込める」と言っている。

10

でも今急成長しているアジアの国といえば、中国、韓国、インドだけど、このいずれの国もTPPに入るなんて、言ってない。

TPP参加国の多くは小国で、モノを大量に買うような経済力は持ってないんだ。GDP比で見ると、アメリカが7 割、日本が2 割、残りの8 か国で1 割。つまり実質的にはアメリカと日本の2 国間の協定のようなものなんだ。

ではアメリカが日本の製品をいっぱい買ってくれるようになるかということ、その可能性は低い。今アメリカの経済もものすごく落ち込んでいるからね。それよりむしろ、アメリカから日本がモノを買わされるようになると思ったほうがいいだろう。なにしろオバマ大統領は、「今後5年間で輸出を倍増する」と2010年1月に宣言している。アメリカがTPPで輸出を大きく伸ばすとしたら、その相手は日本以外にあり得ないんだ。(つづく)

99%の人のための社会を作ろう  
Projekt99より